

書 架 便 り

2021.06.08 川越高校図書館

☆☆☆ 本を読むなら ☆☆☆ 5月に新しく入った本を紹介します ☆☆☆



白鳥とコウモリ 東野圭吾 幻冬舎

ある青年を刑事が訪問、その人が起こした事件の弁護人が殺害されたと告げる。彼の人となり聞きに来たらしい。善良な弁護士がなぜ被害に。捜査が進み、ある人物が逮捕され、本人も認めるが、本のページの残りがあと 2/3 も。

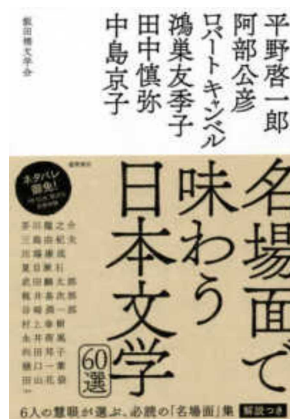
納得できない刑事が調べ続け、矛盾点を追求するも決定打には欠ける。突然殺人の容疑者の息子となった和真は、被害者の娘美令とともに真実を追求しようとするが、三十年以上前の殺人事件の影が見え、当時を知る人の記憶もあいまいで、難航する。ただ、被害者と容疑者の接点はそこ。三十年の間に事件関係者の若者達は成人し、社会人となって家庭を持つが、段々に見えて来る姿に驚愕することになる。

名場面で味わう日本文学60選 飯田橋文学会 徳間書店

案内人は平野啓一郎,阿部公彦,ロバートキャンベル,鴻巣友季子,田中慎弥,中島京子。読み巧者が選ぶ名場面はどこか。それぞれが解説で語る着眼点はどうか、共感出来るか、首をひねるか。古くは鴎外「阿部一族」から川上弘美「神様」まで。

多くの人が納得するものもあれば、書名から知らないものもあると思います。教科書に採られているものは、基本だったのかと認識させられるかもしれません。

自分が思う名場面と違うと感じる人は、自分ならを挙げていてもいいですね。文学作品に入らないかもだけど、司書が興味深いと思っているのはアニメーションの「耳をすませば」で「お前歌えよ」「えっ、私オンチだもん」「ちょうどいいじゃん」のところ。分かるかな。



親の期待に応えなくていい 鴻上尚史 みんなに好かれなくていい 和田秀樹 共に 小学館 Youth Books

Youth 世代向けの新しいシリーズです。タイトルが全て。色々書いてあって、なるほどそうだなと思うでしょうけど。いいんだ、これで。自分を強くもっていこう、決めるのは自分自身。背を押してくれる本です。

クラス別貸出冊数 埼玉県立川越高等学校 2021.05.01 ~ 2021.05.31

	組	A組	B組	C組	D組	E組	F組	G組	H組	I組	合計
1 学年	0	0	11	0	0	1	1	5	2	2	22
2 学年	0	2	4	0	1	2	8	7	10	9	43
3 学年	0	0	0	16	27	14	16	0	1	1	75
職員卒業生	63	0	0	0	0	0	0	0	0	0	63
合 計	63	2	15	16	28	17	25	12	13	12	203

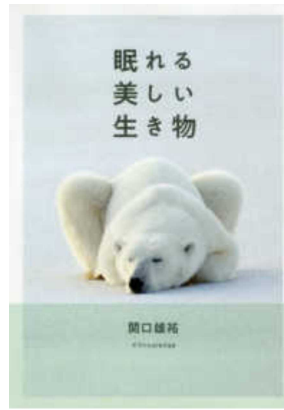
1年生の貸出数が普通になって、いつも通りの数字になってきました。残念だけど、今後期待してます。



いきもの口図鑑
長谷川真理子 イブイ



どうぶつのあくび
中川遊野 アспект



眠れる美しい生き物
関口雄祐 Eksnagga

新着は「いきもの口図鑑」で後の二冊は以前からの蔵書ですが、いきものの色々な姿を捉えています。「口図鑑」というからには大きく開けた正面写真かイラストと思うけど、そうじゃないものも沢山。動物の口に焦点をあてた解説です。

食べる、呼吸する、運ぶ。働きは多様で排出も同じところだったり、そもそも口がなかったり(ハリマシとか)反対におしりから水を飲むダゴンシもいるし。アサリとかサザエの口ってどうなってる？

あくび姿も眠ってるのも無防備でいい。

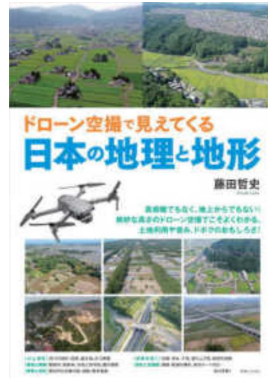


プラスチックの現実と未来へのアイデア
高田秀重 監修 東京書籍

待ったなしのプラスチックによる海洋・環境汚染。プラスチックごみの現状を解説したものは多い。分かってるよ、と言いたくなるし。でも、やらねば。

未来のために、今から出来るアイデアの数々を挙げています。リサイクルはプラスチック対策の決め手とはならない、最優先はプラスチックのリデュース。性質と構造を知ると難敵加減が分かる。

「プロブレム Q&A プラスチックごみ問題入門」も有。



ドローン空撮で見えてくる日本の地理と地形
藤田哲史 実業之日本社

地理的に特徴的なところ、歴史的な視点や現状を説明しやすい場所を撮って、解説。

川が作った様々な地形、人が手を入れてきた田畑(開拓新田や干拓地)や防風林・防砂林、集落の変遷が見える遺跡など。

現代の技術発展を知ることが出来る橋や鉄道、高速道路のジャンクションで地形に嵌めるさま、今と昔の様子も伺えます。

更には古戦場の現在も、長篠とか関ヶ原とか。



ヨンケイ!! 天沢夏月 ポプラ社

100×4リレー(四継)でインターハイに挑む東京だけど離島の高校陸上部の話。天才的な兄の存在から屈折してリレーをやりたがらない1走、自信がなくスランプを抱えたエースの2走、強豪校から逃げてきた転校生の3走、リレーへの思い入れが強いばかりに保守的で頭でっかちな部長の4走アンカー。

最初はバトンの繋ぎもまったくうまくいかなかったが、お互いが本音でぶつかり合ううちに、しだいにチームに変化が一。

そうそううまくはいかないでしょ、全国から集まる高校総体だよ、でも期待大。

言葉の園のお菓子番 ほしおさなえ だいわ文庫

「連句」って分かりますか。五・七・五に七・七を交互に付け連ねるもので、二人以上の人が順につないでいくものです。前の句とは関連があるけども違う内容の句がよいそうです。

書店員の職を失った一葉は、亡き祖母が残したメモを元に毎月のその会合に月ごとのお菓子を差し入れにいきます。届けるだけのつもりが会員さん達に誘われ、連句にも挑戦してみるようになります。

失職で思ったより受けていたダメージがだんだんほぐれ、書店での経験から始まった思わぬ依頼で日常も動き出します。ゆっくりと未来へ一步を踏み出していく物語。

